

ー コロナ禍で働く女性の健康を、医師がオンライン医療相談でサポートー

【経産省補助事業】法人向けオンライン女性健康相談サービス 「フェムラインかごしま」実証事業を開始

社会医療法人博愛会 相良病院（所在地：鹿児島市、理事長：相良吉昭）を代表とするコンソーシアムは、経済産業省 令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」補助事業者に採択されたことを受け、「法人向けオンライン健康相談サービス『フェムラインかごしま』実証事業」を2021年10月中旬より開始しました。

コロナ禍で「病院を受診するべきか悩む」「受診を控えてしまう」という働く女性に対して、医師がオンラインでアドバイスを行うことにより、適切な受診判断を支援します。また近年、健康経営の取り組みとして、女性の健康問題への関心が高まる中、協力企業の女性社員にオンライン相談窓口を提供することで、その効果を検証します。実証事業期間は、2021年10月から2022年2月までです。



【フェムラインかごしま 遠隔健康医療相談サービス 実施医療機関】

- ・社会医療法人博愛会 相良病院（代表団体：乳腺科・婦人科）
- ・医療法人真栄会 にいむら病院（女性泌尿器科）
- ・医療法人浩聖会 セイコメディカルビューティークリニック（美容外科・美容皮膚科）
- ・医療法人仁知会 竹内レディースクリニック（産婦人科）

【 フェムラインかごしま 協力企業 】

・明石屋菓子店・指宿白水館・鹿児島銀行・南日本総合サービス・山形屋

【 フェムラインかごしま サービス開発・サポート担当 】

・株式会社 code

【 実証事業の内容 】

協力企業 5 社で働く女性従業員約 3,800 名を対象に、医師による遠隔健康医療相談サービスを提供します。相談に応じるのは、県内の医療法人 4 団体の医師です。オンラインによる健康相談を通じて、女性特有の健康の悩みや職場の環境課題、サービスの需要などを検証していきます。

また働く女性と経営者・管理責任者にアンケート調査を実施し、当事者である女性だけではなく、周囲の理解や問題意識、サポート体制に関する調査も行います。

なお調査結果をもとにサービスの改善を図り、実証事業終了後のサービス継続・拡大を目指します。



【 令和 3 年度 フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金 補助事業について 】

経済産業省による本実証事業は、働く女性の妊娠・出産・更年期障害等ライフイベントに起因する望まない離職等を防ぎ、個人の幸福 (well-being) 向上と企業の人材多様性を高めることを目指すものです。81 事業の応募があり、外部有識者による審査を経て、当団体を含む 20 事業が採択されました。

【 フェムテックとは 】

フェムテック (Femtech) とは、女性 (Female) とテクノロジー (Technology) を掛け合わせた造語で、女性が抱える健康課題をテクノロジーで解決できる商品やサービスを指します。

本件に関するお問い合わせ先

フェムラインかごしま 実証事業事務局

<http://femline.jp>

(社会医療法人博愛会 相良病院 事業本部 マーケティング部 担当：山内、里山、増元)

TEL：099-224-1811 / info@sagara.or.jp